

福島県地域公共交通計画の変更について

1 概要

(1) 「双葉・浪江～南相馬線」の実証運行終了に伴う修正

- ・ 双葉・浪江～南相馬線について、令和5年10月より2年間実証運行を行ったが、令和7年9月30日の運行期間終了をもって路線廃止となることによる変更内容を反映するもの。

【p52、53（2）圏域別の地域公共交通ネットワーク将来像、p92【別表】地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金）の活用について】

(2) 会津鉄道及び野岩鉄道の経営健全化に関する計画に基づく評価指標の修正

- ・ 「第三セクター鉄道の年間利用者数」について、会津鉄道及び野岩鉄道における経営健全化に関する計画が改めて策定されたことに伴い、目標値を更新するもの。

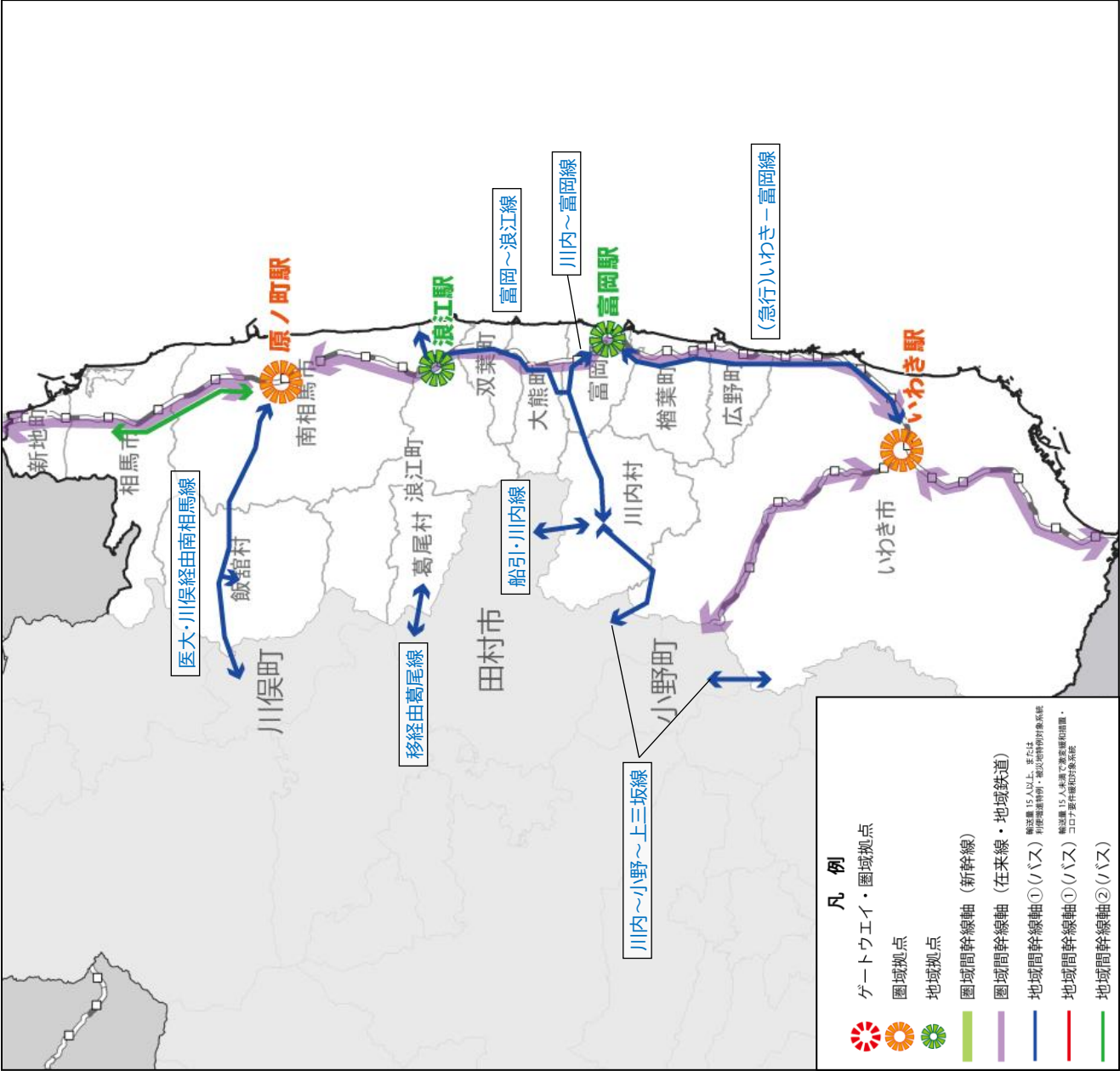
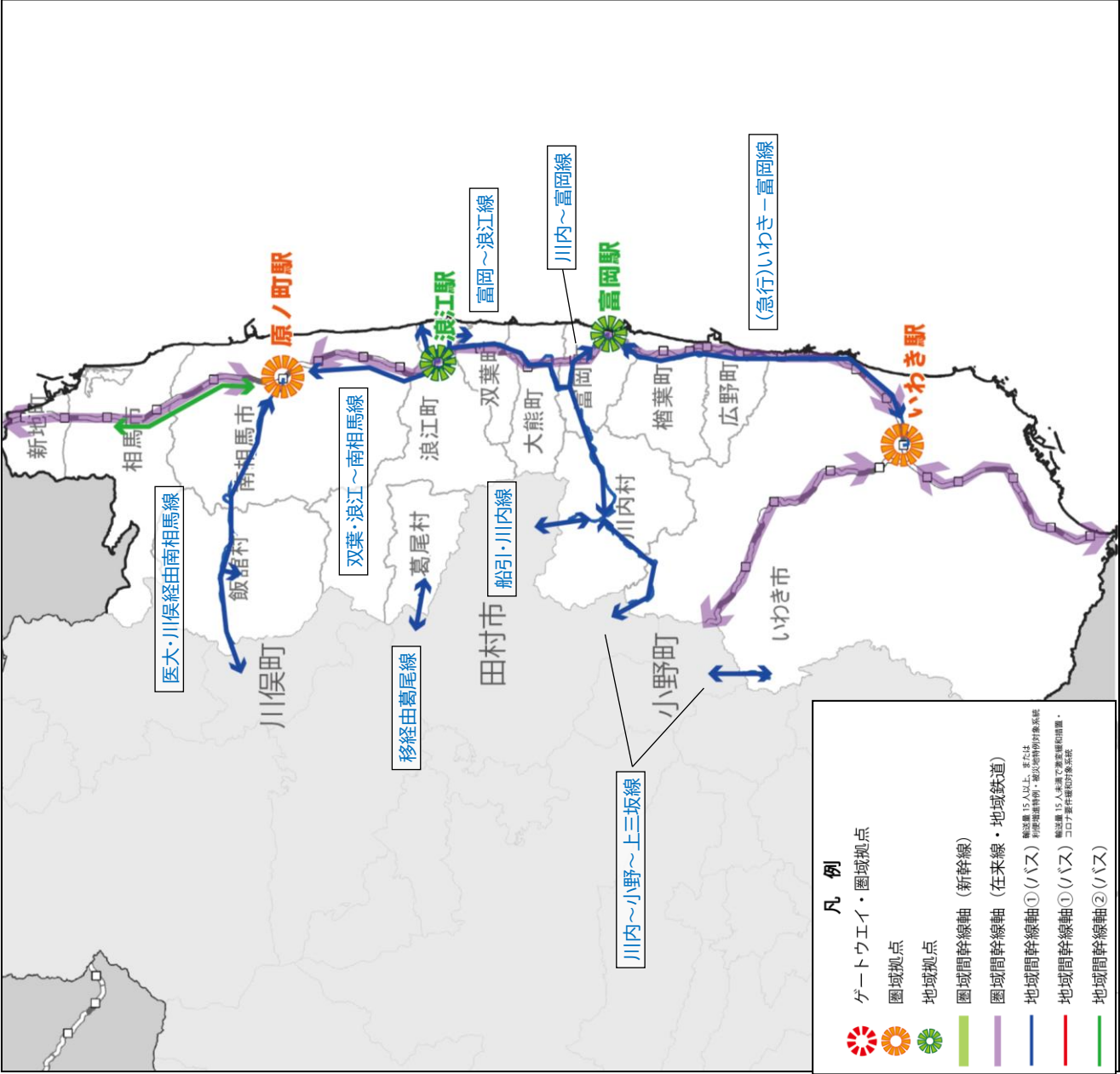
具体的には、目標値を767千人（令和6年度）→727千人（令和9年度）に変更する。

【p55 3-3 計画の目標 目標①県民や来訪者が安心しておでかけできる地域公共交通ネットワークを構築する】

2 計画改正の内容

別紙「新旧対照表」のとおり

福島県地域公共交通計画 新旧対照表

ページ	変更後	変更前
52		

ページ

53

変更後

変更前

【軸の位置付け等】

区分	位置付け	路線名
圏域間幹線軸 (在来線・地域鉄道)	○隣接する県間、圏域間等との広域的な移動・連携を支える軸 ○市町村間等の交流、県民の生活を支え、本県の活性化を促す重要な役割を持つ幹線軸	・JR常磐線、磐越東線
地域間幹線軸①	○国の地域公共交通確保維持事業（地域間幹線系統確保維持費国庫補助金）を活用して運行する広域路線バス ○圏域内等の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、将来的にも維持を図る	・医大・川俣經由南相馬線、 移經由葛尾線、船引・川内線 (幹 福島交通) ・(急行)いわき～富岡線、 川内～小野～上三坂線、 川内～富岡線、富岡～浪江線 (幹 新常磐交通) <u>双葉・浪江～南相馬線</u> <u>(東北アクセス)</u>
地域間幹線軸②	○地域間幹線軸①以外の広域路線バス ○圏域内等の交流や、県民の生活を支える役割を持つため、事業性や地域の意向等を踏まえて適切に維持を図る	・車川經由原町線、 立谷經由原町線 (福島交通)

幹：地域間幹線系統

※：双葉・浪江～南相馬線について

道路運送法第21条の規定に基づき、令和5年10月から実証事業として運行を行うもの。令和6年10月以降の取り扱いについては、福島県避難地域広域公共交通検討協議会における検討・協議結果を踏まえ、利用促進を図りながら実証運行を継続する。ただし、令和6年10月から1年限りの実証運行とする。

ページ	変更後		変更前																																
	【評価指標】		【評価指標】																																
55	<table><tr><th>指 標</th><th>現況値</th><th>目標値</th><th>備 考</th></tr><tr><td>乗合バスの年間利用者数</td><td>14,910千人/年 (令和4年度)</td><td>16,145千人/年 (令和12年度)</td><td></td></tr><tr><td>第三セクター鉄道の年間利用者数※</td><td>562千人 (令和4年度)</td><td><u>727千人</u> <u>(令和9年度)</u></td><td>会津鉄道、野岩鉄道</td></tr><tr><td>広域路線バス（地域間幹線系統）に対する県の公的負担額</td><td>150,559千円/年 (令和5年度)</td><td>152,436千円/年 (令和12年度)</td><td></td></tr></table> ※第三セクター鉄道の年間利用者については、会津鉄道及び野岩鉄道において経営健全化に関する計画を策定していることから、<u>令和10年度以降</u>の目標値は、当該計画と整合するよう別途適切な時期に検討する。		指 標	現況値	目標値	備 考	乗合バスの年間利用者数	14,910千人/年 (令和4年度)	16,145千人/年 (令和12年度)		第三セクター鉄道の年間利用者数※	562千人 (令和4年度)	<u>727千人</u> <u>(令和9年度)</u>	会津鉄道、野岩鉄道	広域路線バス（地域間幹線系統）に対する県の公的負担額	150,559千円/年 (令和5年度)	152,436千円/年 (令和12年度)		<table><tr><th>指 標</th><th>現況値</th><th>目標値</th><th>備 考</th></tr><tr><td>乗合バスの年間利用者数</td><td>14,910千人/年 (令和4年度)</td><td>16,145千人/年 (令和12年度)</td><td></td></tr><tr><td>第三セクター鉄道の年間利用者数※</td><td>562千人 (令和4年度)</td><td><u>767千人</u> <u>(令和6年度)</u></td><td>会津鉄道、野岩鉄道</td></tr><tr><td>広域路線バス（地域間幹線系統）に対する県の公的負担額</td><td>150,559千円/年 (令和5年度)</td><td>152,436千円/年 (令和12年度)</td><td></td></tr></table> ※第三セクター鉄道の年間利用者については、会津鉄道及び野岩鉄道において経営健全化に関する計画を策定していることから、<u>令和 7年度以降</u>の目標値は、当該計画と整合するよう別途適切な時期に検討する。	指 標	現況値	目標値	備 考	乗合バスの年間利用者数	14,910千人/年 (令和4年度)	16,145千人/年 (令和12年度)		第三セクター鉄道の年間利用者数※	562千人 (令和4年度)	<u>767千人</u> <u>(令和6年度)</u>	会津鉄道、野岩鉄道	広域路線バス（地域間幹線系統）に対する県の公的負担額	150,559千円/年 (令和5年度)	152,436千円/年 (令和12年度)	
指 標	現況値	目標値	備 考																																
乗合バスの年間利用者数	14,910千人/年 (令和4年度)	16,145千人/年 (令和12年度)																																	
第三セクター鉄道の年間利用者数※	562千人 (令和4年度)	<u>727千人</u> <u>(令和9年度)</u>	会津鉄道、野岩鉄道																																
広域路線バス（地域間幹線系統）に対する県の公的負担額	150,559千円/年 (令和5年度)	152,436千円/年 (令和12年度)																																	
指 標	現況値	目標値	備 考																																
乗合バスの年間利用者数	14,910千人/年 (令和4年度)	16,145千人/年 (令和12年度)																																	
第三セクター鉄道の年間利用者数※	562千人 (令和4年度)	<u>767千人</u> <u>(令和6年度)</u>	会津鉄道、野岩鉄道																																
広域路線バス（地域間幹線系統）に対する県の公的負担額	150,559千円/年 (令和5年度)	152,436千円/年 (令和12年度)																																	

福島県地域公共交通計画 新旧対照表

ページ	変更後	<table><tr><th>圏域</th><td>相双・いわき</td><td>相双・川内～富岡線</td><td>相双・富岡～浪江線</td><td>相双・双葉・浪江～南相馬線</td><td>相双・いわき</td></tr><tr><th>路線名</th><td>（急行）いわき～富岡線</td><td>富岡駅</td><td>富岡駅前・車庫前・富岡駅</td><td>富岡駅前・FH2R</td><td>双葉駅前・ジャスモール南相馬</td></tr><tr><th>起点・終点</th><td>いわき駅前・富岡駅前</td><td>車庫前・富岡駅</td><td>富岡駅前・FH2R</td><td>双葉駅前・ジャスモール南相馬</td><td>東北アセス</td></tr><tr><th>事業者名</th><td>新常磐交通</td><td>新常磐交通</td><td>新常磐交通</td><td>新常磐交通</td><td>東北アセス</td></tr><tr><td colspan="6"></td></tr><tr><td>各路線の役割及び確保・維持の必要性（補助事業活用の必要性）</td><td>当該系統は、いわき市と富岡町間を結びバス路線です。主にいわき市や富岡町から広野町方面（ふたば未来学園高等学校等）への通学の移動手段として利用されており、いわき市久之浜地区では唯一の路線バスであることから、運行の維持が求められます。</td><td>当該系統は、川内村と富岡町間を結び唯一のバス路線です。川内村から富岡町方面（県立ふたば未来学園等）にアセスするための重要な公共交通であるため、移動ニーズに見合った運行となる改善を図りつつ、運行の維持が求められます。</td><td>当該系統は、富岡町と浪江町間を結びバス路線です。沿線には福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）が立地し、復興途上にある浜通り地方（双葉郡）の復興進展に伴う移動ニーズの高まり等を見据えながら運行の維持が求められます。</td><td>当該系統は、双葉町・浪江町・南相馬市間を結びバス路線です。避難地域（双葉町及び浪江町）の住民が日常生活において通院・買物等の広域移動をするための基盤として、令和5年10月から実証運行を行うものです。</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td></tr><tr><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td></tr></table>	圏域	相双・いわき	相双・川内～富岡線	相双・富岡～浪江線	相双・双葉・浪江～南相馬線	相双・いわき	路線名	（急行）いわき～富岡線	富岡駅	富岡駅前・車庫前・富岡駅	富岡駅前・FH2R	双葉駅前・ジャスモール南相馬	起点・終点	いわき駅前・富岡駅前	車庫前・富岡駅	富岡駅前・FH2R	双葉駅前・ジャスモール南相馬	東北アセス	事業者名	新常磐交通	新常磐交通	新常磐交通	新常磐交通	東北アセス							各路線の役割及び確保・維持の必要性（補助事業活用の必要性）	当該系統は、いわき市と富岡町間を結びバス路線です。主にいわき市や富岡町から広野町方面（ふたば未来学園高等学校等）への通学の移動手段として利用されており、いわき市久之浜地区では唯一の路線バスであることから、運行の維持が求められます。	当該系統は、川内村と富岡町間を結び唯一のバス路線です。川内村から富岡町方面（県立ふたば未来学園等）にアセスするための重要な公共交通であるため、移動ニーズに見合った運行となる改善を図りつつ、運行の維持が求められます。	当該系統は、富岡町と浪江町間を結びバス路線です。沿線には福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）が立地し、復興途上にある浜通り地方（双葉郡）の復興進展に伴う移動ニーズの高まり等を見据えながら運行の維持が求められます。	当該系統は、双葉町・浪江町・南相馬市間を結びバス路線です。避難地域（双葉町及び浪江町）の住民が日常生活において通院・買物等の広域移動をするための基盤として、令和5年10月から実証運行を行うものです。	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）							
	圏域		相双・いわき	相双・川内～富岡線	相双・富岡～浪江線	相双・双葉・浪江～南相馬線	相双・いわき																																												
路線名	（急行）いわき～富岡線	富岡駅	富岡駅前・車庫前・富岡駅	富岡駅前・FH2R	双葉駅前・ジャスモール南相馬																																														
起点・終点	いわき駅前・富岡駅前	車庫前・富岡駅	富岡駅前・FH2R	双葉駅前・ジャスモール南相馬	東北アセス																																														
事業者名	新常磐交通	新常磐交通	新常磐交通	新常磐交通	東北アセス																																														
各路線の役割及び確保・維持の必要性（補助事業活用の必要性）	当該系統は、いわき市と富岡町間を結びバス路線です。主にいわき市や富岡町から広野町方面（ふたば未来学園高等学校等）への通学の移動手段として利用されており、いわき市久之浜地区では唯一の路線バスであることから、運行の維持が求められます。	当該系統は、川内村と富岡町間を結び唯一のバス路線です。川内村から富岡町方面（県立ふたば未来学園等）にアセスするための重要な公共交通であるため、移動ニーズに見合った運行となる改善を図りつつ、運行の維持が求められます。	当該系統は、富岡町と浪江町間を結びバス路線です。沿線には福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）が立地し、復興途上にある浜通り地方（双葉郡）の復興進展に伴う移動ニーズの高まり等を見据えながら運行の維持が求められます。	当該系統は、双葉町・浪江町・南相馬市間を結びバス路線です。避難地域（双葉町及び浪江町）の住民が日常生活において通院・買物等の広域移動をするための基盤として、令和5年10月から実証運行を行うものです。	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）																																														
被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）																																														
92	変更前	<table><tr><th>圏域</th><td>相双・いわき</td><td>相双・（急行）いわき～富岡線</td><td>相双・川内～富岡線</td><td>相双・富岡～浪江線</td><td>相双・双葉・浪江～南相馬線</td><td>相双・いわき</td></tr><tr><th>路線名</th><td>（急行）いわき～富岡線</td><td>富岡駅前・いわき駅前</td><td>富岡駅</td><td>富岡駅前・FH2R</td><td>双葉駅前・ジャスモール南相馬</td><td>東北アセス</td></tr><tr><th>起点・終点</th><td>いわき駅前・富岡駅前</td><td>車庫前・富岡駅</td><td>富岡駅前・FH2R</td><td>双葉駅前・ジャスモール南相馬</td><td>東北アセス</td><td>東北アセス</td></tr><tr><th>事業者名</th><td>新常磐交通</td><td>新常磐交通</td><td>新常磐交通</td><td>新常磐交通</td><td>東北アセス</td><td>東北アセス</td></tr><tr><td colspan="7"></td></tr><tr><td>各路線の役割及び確保・維持の必要性（補助事業活用の必要性）</td><td>当該系統は、いわき市と富岡町間を結びバス路線です。主にいわき市や富岡町から広野町方面（ふたば未来学園高等学校等）への通学の移動手段として利用されており、いわき市久之浜地区では唯一の路線バスであることから、運行の維持が求められます。</td><td>当該系統は、川内村と富岡町間を結び唯一のバス路線です。川内村から富岡町方面（県立ふたば未来学園等）にアセスするための重要な公共交通であるため、移動ニーズに見合った運行となる改善を図りつつ、運行の維持が求められます。</td><td>当該系統は、富岡町と浪江町間を結びバス路線です。沿線には福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）が立地し、復興途上にある浜通り地方（双葉郡）の復興進展に伴う移動ニーズの高まり等を見据えながら運行の維持が求められます。</td><td>当該系統は、双葉町・浪江町・南相馬市間を結びバス路線です。避難地域（双葉町及び浪江町）の住民が日常生活において通院・買物等の広域移動をするための基盤として、令和5年10月から実証運行を行うものです。</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td></tr><tr><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td><td>被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）</td></tr></table>	圏域	相双・いわき	相双・（急行）いわき～富岡線	相双・川内～富岡線	相双・富岡～浪江線	相双・双葉・浪江～南相馬線	相双・いわき	路線名	（急行）いわき～富岡線	富岡駅前・いわき駅前	富岡駅	富岡駅前・FH2R	双葉駅前・ジャスモール南相馬	東北アセス	起点・終点	いわき駅前・富岡駅前	車庫前・富岡駅	富岡駅前・FH2R	双葉駅前・ジャスモール南相馬	東北アセス	東北アセス	事業者名	新常磐交通	新常磐交通	新常磐交通	新常磐交通	東北アセス	東北アセス								各路線の役割及び確保・維持の必要性（補助事業活用の必要性）	当該系統は、いわき市と富岡町間を結びバス路線です。主にいわき市や富岡町から広野町方面（ふたば未来学園高等学校等）への通学の移動手段として利用されており、いわき市久之浜地区では唯一の路線バスであることから、運行の維持が求められます。	当該系統は、川内村と富岡町間を結び唯一のバス路線です。川内村から富岡町方面（県立ふたば未来学園等）にアセスするための重要な公共交通であるため、移動ニーズに見合った運行となる改善を図りつつ、運行の維持が求められます。	当該系統は、富岡町と浪江町間を結びバス路線です。沿線には福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）が立地し、復興途上にある浜通り地方（双葉郡）の復興進展に伴う移動ニーズの高まり等を見据えながら運行の維持が求められます。	当該系統は、双葉町・浪江町・南相馬市間を結びバス路線です。避難地域（双葉町及び浪江町）の住民が日常生活において通院・買物等の広域移動をするための基盤として、令和5年10月から実証運行を行うものです。	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）
圏域	相双・いわき	相双・（急行）いわき～富岡線	相双・川内～富岡線	相双・富岡～浪江線	相双・双葉・浪江～南相馬線	相双・いわき																																													
路線名	（急行）いわき～富岡線	富岡駅前・いわき駅前	富岡駅	富岡駅前・FH2R	双葉駅前・ジャスモール南相馬	東北アセス																																													
起点・終点	いわき駅前・富岡駅前	車庫前・富岡駅	富岡駅前・FH2R	双葉駅前・ジャスモール南相馬	東北アセス	東北アセス																																													
事業者名	新常磐交通	新常磐交通	新常磐交通	新常磐交通	東北アセス	東北アセス																																													
各路線の役割及び確保・維持の必要性（補助事業活用の必要性）	当該系統は、いわき市と富岡町間を結びバス路線です。主にいわき市や富岡町から広野町方面（ふたば未来学園高等学校等）への通学の移動手段として利用されており、いわき市久之浜地区では唯一の路線バスであることから、運行の維持が求められます。	当該系統は、川内村と富岡町間を結び唯一のバス路線です。川内村から富岡町方面（県立ふたば未来学園等）にアセスするための重要な公共交通であるため、移動ニーズに見合った運行となる改善を図りつつ、運行の維持が求められます。	当該系統は、富岡町と浪江町間を結びバス路線です。沿線には福島水素エネルギー研究フィールド（FH2R）が立地し、復興途上にある浜通り地方（双葉郡）の復興進展に伴う移動ニーズの高まり等を見据えながら運行の維持が求められます。	当該系統は、双葉町・浪江町・南相馬市間を結びバス路線です。避難地域（双葉町及び浪江町）の住民が日常生活において通院・買物等の広域移動をするための基盤として、令和5年10月から実証運行を行うものです。	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）																																													
被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）	被災地域地域間幹線系統補助（被災地特例対象）																																													